

県立高看だより

第42号（令和3年12月）

【巻頭言】

師走に入り、寒気いよいよ厳しい季節となりました。保護者の皆様におかれましては、御健勝にてお過ごしのこととお喜び申し上げます。日頃より、学院の教育、運営への御理解、御協力に心より感謝申し上げます。

今年度も残すところ3か月あまりとなりました。令和3年は、長期化する新型コロナウイルス感染症に翻弄された1年になりました。感染症対策を講じつつ、対面授業とオンライン授業を併用し、また、実習は、見学中心の臨地実習と学内実習を組み合わせ続けてきました。学生たちは、人となりを制限されましたが、それぞれの課題達成に向け全力で取り組んでいます。

そのようななか、令和4年度に入学する学生から適用される第5次看護基礎教育カリキュラム改正があります。前回の改正が平成21年でしたので、10年以上ぶりの改正になります。今回のカリキュラム改正は、人口や疾病構造の変化、療養の場の多様化などに伴い、複雑化するケアニーズに対応できる能力を育成することが求められています。自校の教育理念・目的・目標を実現するために、社会の変化を見据えながら、これからの時代に必要な資質・能力をどのように育むのか、教職員一丸となり、日々検討を重ねているところであります。

さて、今年1年は、皆さんにとってどんな年でしたか。逼迫する医療現場をみながら、看護に対する責任を強く自覚したのではないのでしょうか。2022年の干支は「壬寅（みずのえとら）」、「壬寅」は、厳しい冬を越えて、芽吹き始め、新しい成長の礎となるという意味があるそうです。学生の皆様には、新しい年に向かい、自分自身ができたこと・できなかったことを振り返り、自分のことを深く知る機会になるよう、この冬休みをお過ごしください。

そして、保護者の方々には重ねて御支援を賜りますとともに、皆様と心をつなげて、学生が安心と希望をもって目標に向かって直往邁進できるよう、取り組んでまいります。今後ともよろしくお願い申し上げます。

学院長 伊藤 美佐子



【学年担当より】

<1年生（40回生）>

1年生は、病態学や領域別看護の講義が始まり、基礎的な学習からより専門的な学習に取り組んでいます。9月には、基礎看護学実習Ⅰを終了しました。本来であれば4日間の病院実習であるところ、新型コロナウイルス感染症拡大のため1日のみとなりました。看護部長からの特別講義の聴講や臨床看護を見学することで、看護師の活動の実際を学びました。また学内では、教員が患者役を演じコミュニケーションの実習を行いました。教員が演じた患者とはいえ、講義で学んだコミュニケーション技術に配慮しながらの実践は緊張したようです。実習終了後の振り返りでは、自分のコミュニケーションの傾向に気づき課題が明確になったなど多くの学びがありました。

今後は、講義が終了となる科目も多くなり科目修得試験が続きます。冬期休暇中は、御家庭においても学習環境の調整や体調管理への御支援をお願いいたします。

<2年生（39回生）>

臨地実習前の9月に、校内デイキャンプを行いました。今年度も、新型コロナウイルス感染症の影響により、企画やスケジュールを工夫し、クラスを超えた親睦を深めることができました。

11月からは、約1年間に及ぶ臨地実習が始まりました。生活リズムが変わり、身体面・精神面の疲労、ストレスが大きくなると思います。これまで学習したことを実践に活かし、応用することが看護師としての第一歩です。臨地でしか得られない患者さんとの関わり、そして学びを大切に、看護師を志す意志を持ち続けられるよう支援してまいります。御家庭でも、日々学習に励むお子さんをどうか心身ともに温かい見守りと御支援をよろしくお願い致します。また、12月に就職ガイダンスを実施しました。就職試験が早くなってきましたので、進路のことも考えていけると良いと思います。

<3年生(38回生)>

一年間の長きにわたる領域別実習は、新型コロナウイルス感染症の影響で予定どおりには行えませんでした。が無事に終わることができました。また、看護研究は、一人ひとりが実習での貴重な経験を文献や先行研究から検証し、実践した看護について研究論文としてまとめることができました。11月2日の看護研究発表会では、1、2年生や保護者の前で堂々と発表し成長した姿がみられました。令和4年2月13日(日)には、第111回看護師国家試験が行われます。模擬試験結果を踏まえて、自己の弱点強化が必須です。また、小テストを活用してしっかり計画を立て、粘り強く学習に取り組んでいってほしいと思います。教員一同応援しています。保護者の皆様には、学生が受験勉強に専念できる学習環境ならびに健康管理、精神的支援の御協力・御支援をよろしくお願いいたします。

【埼玉県専任教員養成講習会】

令和3年9月27日～10月15日まで看護教育実習の実習生2人が来ました。看護教育機関の役割機能を理解し専任教員の役割を学びました。実習は、3年生最後の実習において、教員の役割・臨床との連絡調整等を体験しました。また、講義は、1年生に「共通基本技術Ⅲ」「老年看護学目的・対象論」を実施しました。看護学生とかわわり、準備～実施～リフレクションの重要性を深められました。協力していただいた皆さんに感謝いたします。

【卒業生と触れ合う会】

7月21日にリモート併用で実施しました。卒業生28名(来校19名リモート9名)が参加し、来校した卒業生と交流しました。卒業生から「看護師としてのやりがい」などを聞き、在校生は、就職への意識や卒業後の社会人としての心構えを持つ準備ができました。

【保護者アンケート】

11月に全学年の保護者の皆さまに保護者アンケートを実施しました。1年生67人、2年生43人、3年生47人の保護者の皆さまにご回答いただき、全体の回収率は79.7%でした。御協力誠にありがとうございました。保護者アンケートの結果は当学院の学校評価に反映させてまいります。また結果は、新年度学院ホームページにて提示いたします。



【健康管理】

新型コロナウイルス感染症に加えインフルエンザも流行する時期になりました。1年生後期には基礎看護学実習を控えており、2年生は領域別臨地実習がスタートしております。3年生は残り少ない学生生活を有意義に、国家試験に向け日夜奮闘していることでしょう。冬の寒さが厳しさを増しています。体調管理に気を付けて年度末を乗り越えましょう。

【若葉祭】

11月5日、「コロナ禍でも3密にならず、クラスで楽しめる若葉祭」をテーマに実施しました。他学年との交流を最小限にして時間を短縮しましたが、放送やゲームの工夫でクラスごとに盛り上がり、笑顔や拍手が聞こえていました。

【防災訓練】

8月23日校内防災訓練を行いました。避難訓練、消火訓練、DVD視聴、ビニル袋防護服(ガウン)作成。消火器や消火栓の取り扱い、救助袋を活用した避難訓練に真剣に取り組み、普段からの防災意識向上を図ることができました。



【スクールカウンセリングのお知らせ】

当学院のスクールカウンセラーは、公認心理師・臨床心理士です。月に1回程度、学院にてカウンセリングを実施しています。カウンセリングは、学校生活において悩んでいることや相談したいことなどの相談ができます。カウンセリングの内容に関しては、秘密を守りますので安心して相談してください。悩んでいることがなかなか解決しない場合や友達や家族に話すのに少し抵抗がある場合など、一人で悩まず一緒に考えましょう。



【今後の予定】

- 令和3年12月25日(土)～令和4年1月4日(火) 冬期休暇
- 令和4年1月5日(水) 始業
- 令和4年2月1日(火) 入学試験・一般入試
- 令和4年2月13日(日) 第111回看護師国家試験
- 令和4年2月28日(月) 就職説明会(県立病院)
- 令和4年3月1日(火) 卒業式
- 令和4年3月7日(月) 就職説明会(実習施設)
- 令和4年3月22日(火) 学習環境整備
- 令和4年3月25日(金) 第111回看護師国家試験合格発表
- 令和4年3月23日(水)～令和4年4月4日(月) 春期休暇



次回の発行は3月になります。